

パートナー様向け
バックアップ製品のご紹介
ディスクイメージバックアップ
Veritas System Recovery 18

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス本部

VERITASTM
The truth in information.

改定履歴

版数	発行日	改定履歴
Veritas System Recovery 18 製品紹介 第1版	2018年3月	• 初版発行
Veritas System Recovery 18 製品紹介 第1.1版	2018年7月	• Veritas System Recovery SP1の主な新機能に関する説明を追加 • 各種情報に示すURLをSP1向けに更新
Veritas System Recovery 18 製品紹介 第1.2版	2018年12月	• Veritas System Recovery SP2の主な新機能に関する説明を追加 • こちらの改定履歴を追加 • 保守料変更に伴う参考ライセンス価格の更新 • 各種情報に示すURLをSP2向けに更新

免責事項

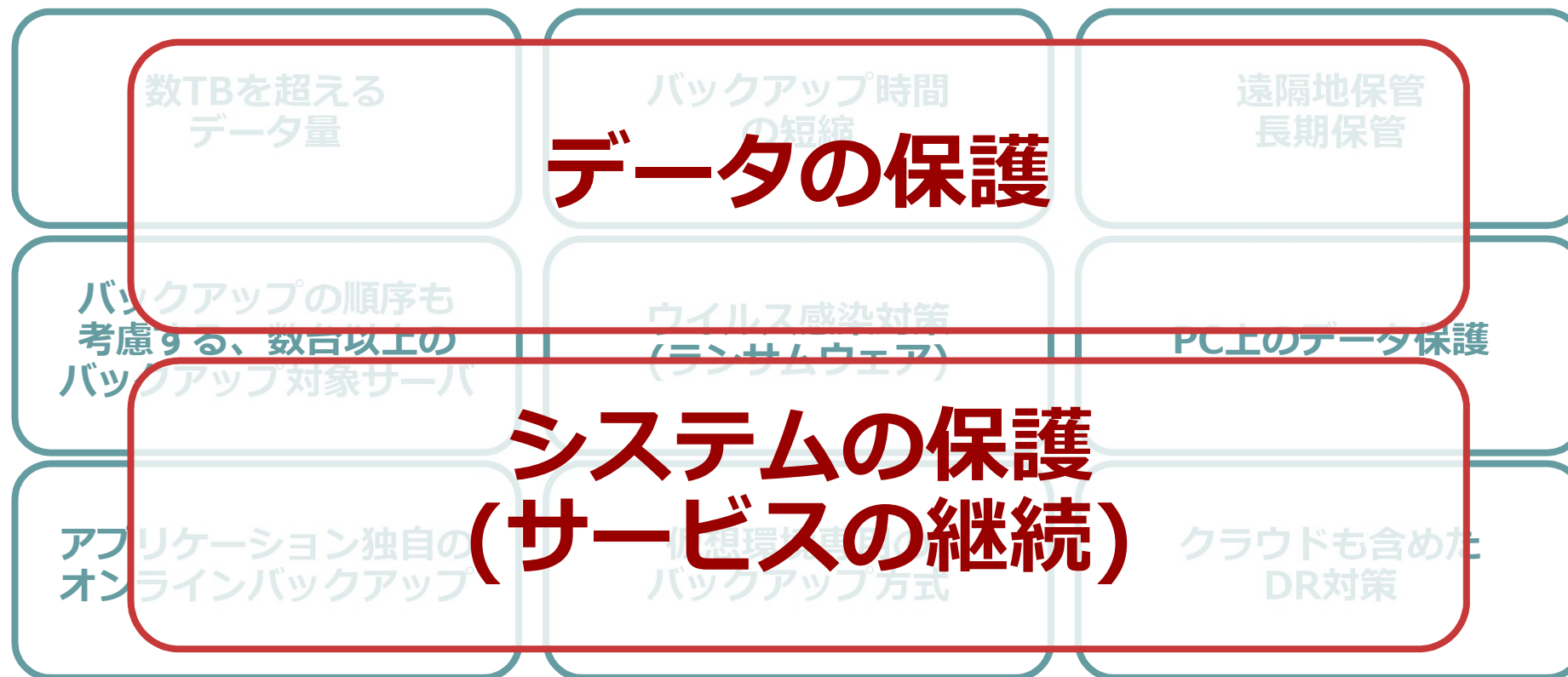
- ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。
- VERITAS の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。
- なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。

この資料の目的

- ・ System Recovery 18 の特徴をご理解いただくこと
- ・ お客様の課題に適した製品をご提案いただけるようになること

お客様の課題

お客様の課題



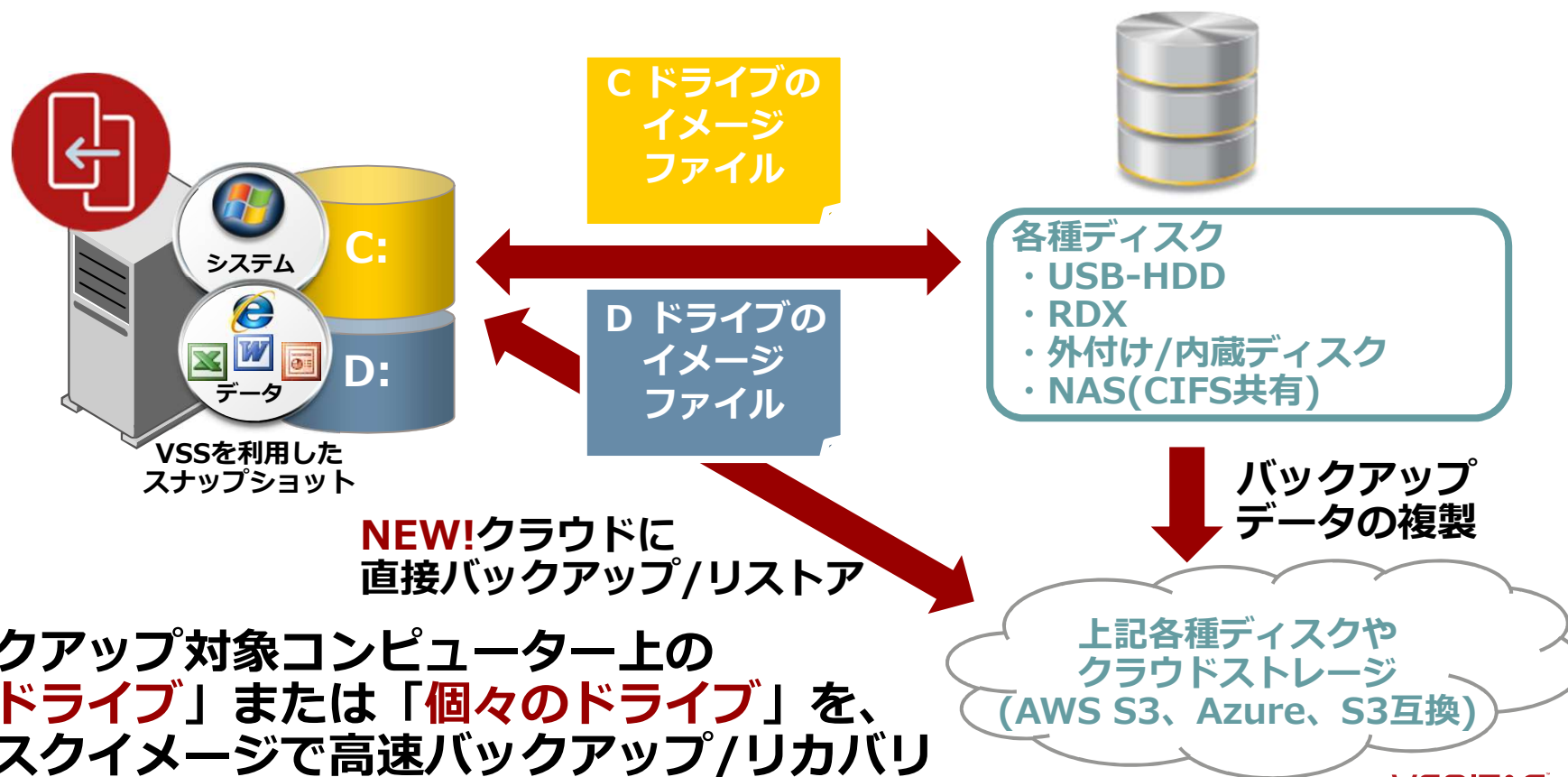
System Recovery 18

System Recovery 18とは



システムもデータも両方まとめて“簡単”、“高速”、“確実”に保護！

- ・ディスクまるごとバックアップ
- ・ディスクまるごとリカバリ



特徴 1 : とにかく速い !



十分に高速です

8 時間でバックアップできるデータ量 (TB)

※)2013年 ITR社調査結果より算出



※)ハードウェアなどの性能、環境に依存します。

特徴 1 : とにかく速い !



高速だから、こんなスケジュールも可能です

ドライブ別にフルバックアップのタイミングを調整して、全部バックアップ

ドライブ	容量	月	火	水	木	金	土	日
C:	200 GB	増分	増分	増分	増分	フル	増分	増分
D:	3TB	増分	増分	増分	増分	増分	フル	増分
E:	3TB	増分	増分	増分	増分	増分	増分	フル

※こちらはリカバリポイントセットをドライブ単位で複数実行した場合です

特徴 1 : とにかく速い !



リカバリの手順と時間を大幅カット !

バックアップとリカバリの所要時間



- リカバリ用のDVDメディアやUSBメモリでマシンを起動
- OS やアプリケーションの再インストール不要
- 再設定も不要
- 丸ごとバックアップしたものを丸ごとリカバリ
- 異なるハードウェア構成にもリカバリ可能
- カスタムリカバリディスクの作成も可能
(事前に必要なドライバを登録可能)

- ・ HW : HP Pavilion dv6
- ・ OS : Windows8 (64bit)
- ・ バックアップ対象
ハードディスク : 25GB 使用
- ・ バックアップ保存先 : NAS
- 出典 : ベリタス調べ

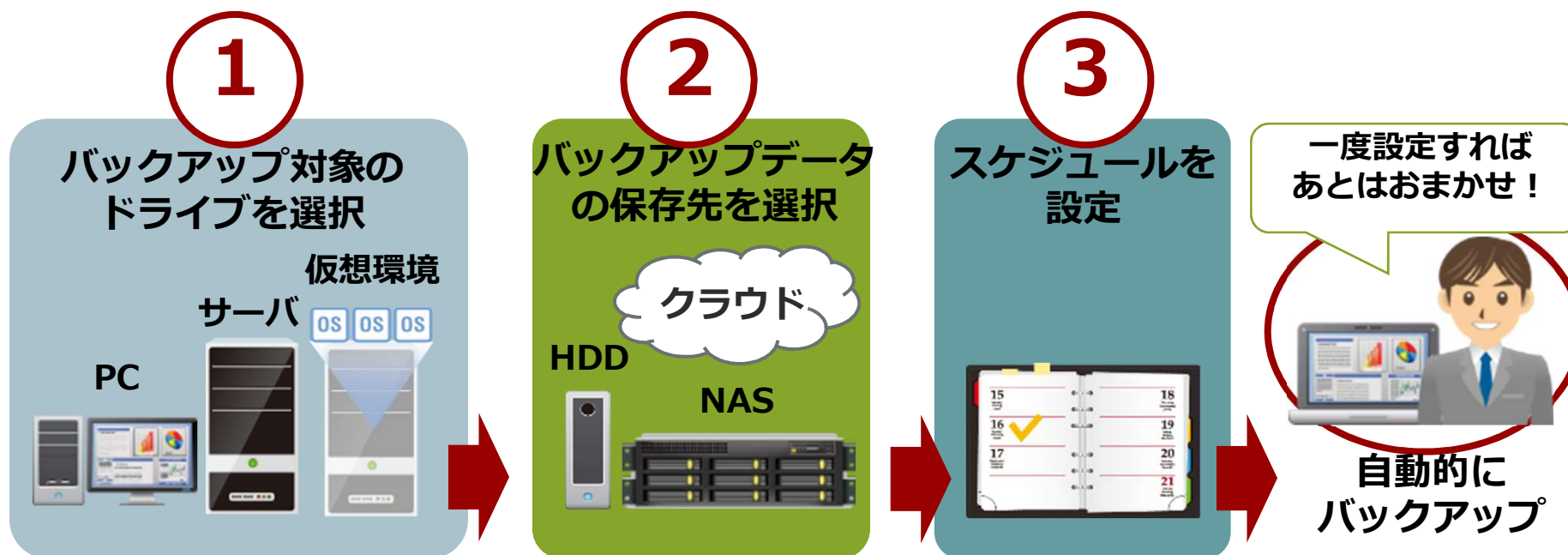
※)ハードウェアなどの性能、環境に依存します。

特徴 2 : とにかく簡単 !



はじめてでも簡単 ! 3ステップ設定

簡単だから、運用コストを抑えてバックアップ !



特徴 2 : とにかく簡単 !

簡単

ファイルのリストアも簡単 !

バックアップデータをマウントすれば、
通常のWindowsのローカルディスクと
同様の操作が可能。

リカバリポイントのマウント

マウントするリカバリポイント (R):

ドライブラベル	ファイルシステム	サイズ
リカバリポイント	NTFS	62,912,512 KB

ドライブ文字 (D):
D: ▼

マウントされたリカバリポイントに対する変更はマウント解除時に破棄されます。

OK キャンセル

ローカル ディスク (D:)

名前	更新日時	種類	サイズ
ユーザー	2018/01/21 13:46	ファイル フォルダー	
Windows	2017/12/23 10:48	ファイル フォルダー	
Program Files (x86)	2018/01/12 21:26	ファイル フォルダー	
Program Files	2018/01/12 20:18	ファイル フォルダー	
PerfLogs	2018/01/26 16:44	ファイル フォルダー	
NTrack	2018/01/22 11:19	ファイル フォルダー	

特徴3：こんな便利な使い方もある！



リカバリ用ディスクを使うと！

① コールドバックアップ

② Restore Anywhere

故障？

リカバリ用ディスク
から起動



バックアップ
イメージ



リカバリ用ディスクで起動し、
OS停止状態でのバックアップ

※)障害発生時以外に、環境構築時にも利用可能
(作業ごとに状態を保全)

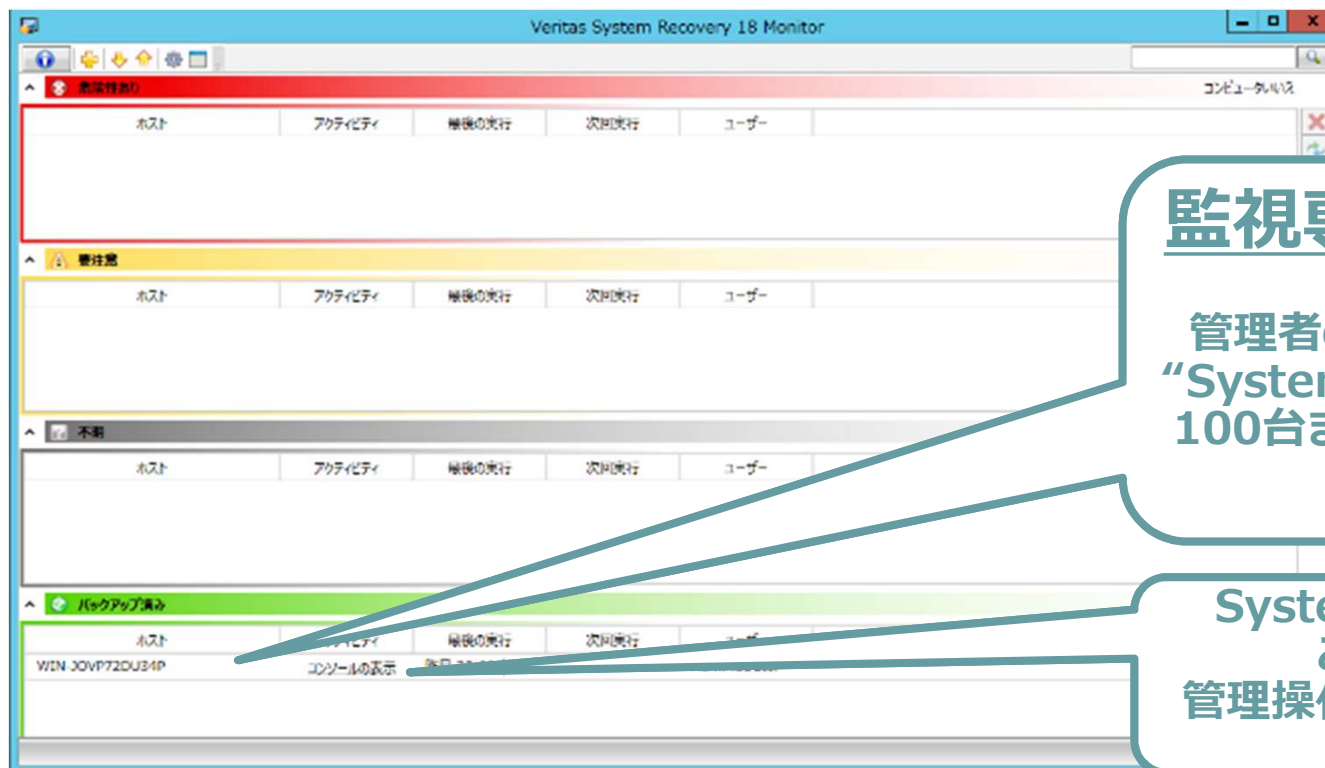
異なるハードウェアへのリカバリ

※)通常のGUIを利用し、
バックアップデータの仮想変換も
可能

特徴3： こんな便利な使い方も！



集中監視用ツールも標準装備



監視専用サーバ不要！

管理者のPCにインストールした
“System Recovery Monitor”で
100台までのSystem Recovery
を集中監視可能！

System Recovery のGUIを
ここから起動できる
管理操作もこの MonitorからOK
(※)要GUIインストール

特徴3：こんな便利な使い方も！



バックアップ保存先のセキュリティもOK！

ネットワークの保存先

選択したネットワーク上の保存先の資格情報を編集します。

フォルダ(L):
¥¥veritas-nas-01¥share¥

ネットワーク資格情報

ユーザー名(U):

パスワード(P):

OK キャンセル

バックアップ対象マシンの
アカウントからアクセスを隔離

バックアップデータ保存先の
NASに対するアクセスには、
個別アカウントを設定可能

RDXカートリッジでより堅牢な保護も

- ・テープメディアと同様のハードプロテクト機構
- ・オフライン保管でデータアクセス経路を遮断

バックアップデータの暗号化

- ・AES 128,192,256 に対応

安全！ランサムウェア対策にも！

SMB市場向けディスクイメージバックアップソフトウェア



Veritas System Recovery 18

2018年2月6日(火) 発売開始



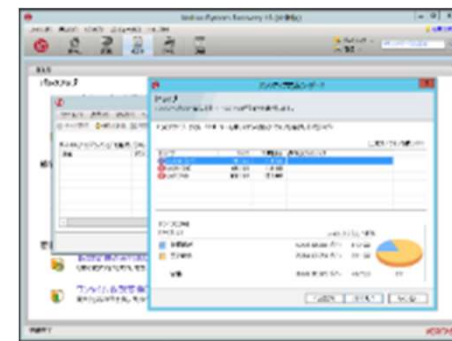
Veritas System Recovery 18 SP1

2018年7月10日(火) 提供開始



Veritas System Recovery 18 SP2

2018年12月6日(木) 提供開始

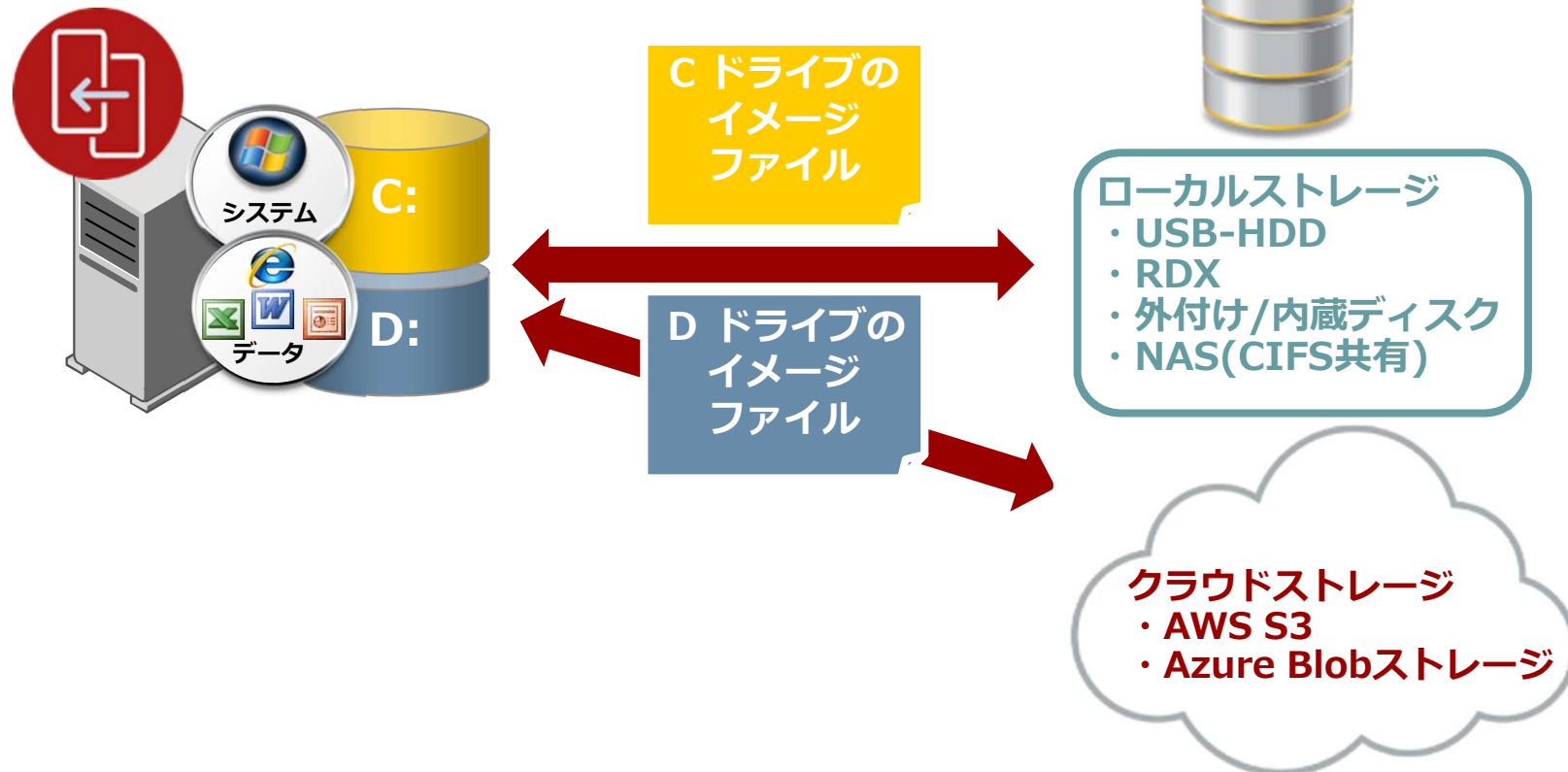


System Recovery 18 での変更点

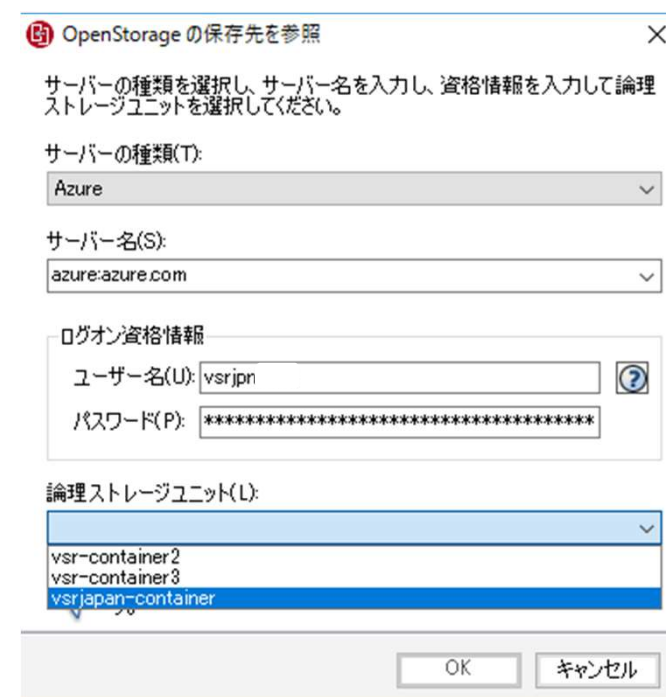
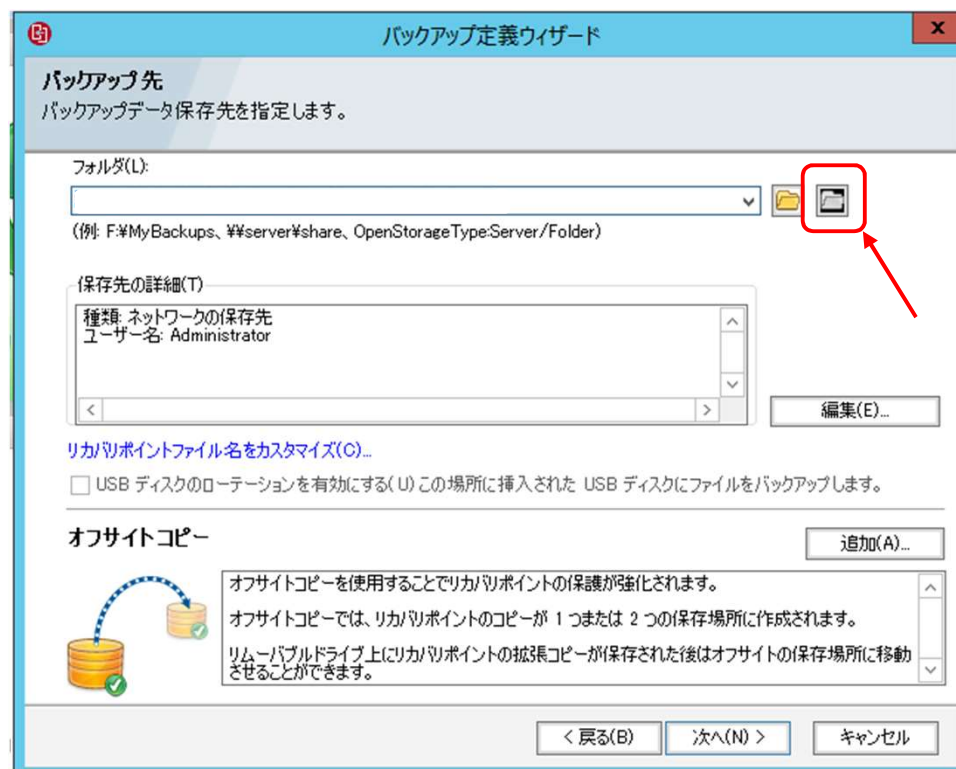
- Windows Server 2016 ver. 1709 / Windows 10 Falls Creators Update対応
- 「クラウドへ直接」オプションのサポート
- SMTP電子メール設定 – TLS/SSLサポート
- Veritas Updateへの変更
- Symantec Management Platform (SMP) 8.1のサポート
- SilverlightのAngularフレームワークのサポート

AWS S3、Azure Blobストレージに 直接バックアップデータの保存・リストアが可能

System Recovery 18

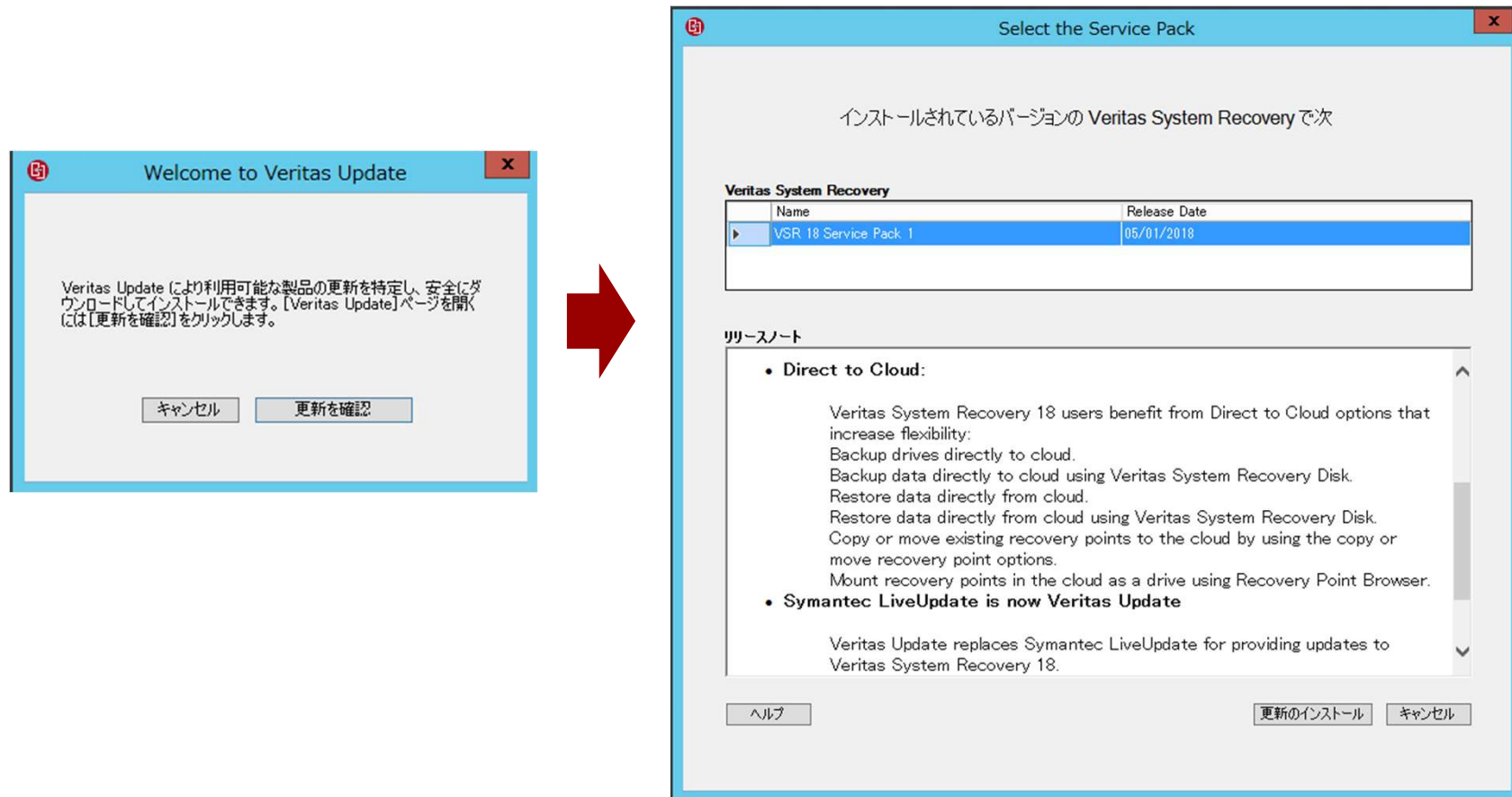


AWS S3、Azure Blobストレージに 直接バックアップデータの保存・リストアが可能

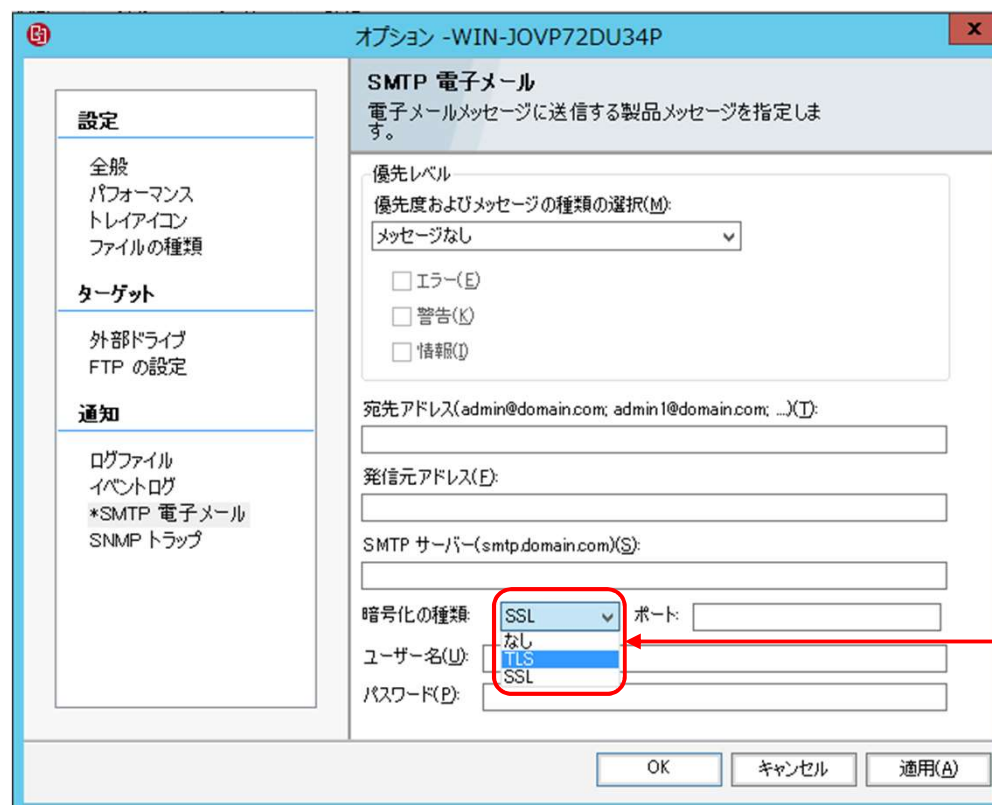


クラウドとの通信には、NetBackupのOpenStorageテクノロジーを活用

Veritas Update (Symantec LiveUpdateの後継)



SMTP電子メール設定 – TLS/SSLの暗号化をサポート



TLS/SSLの
暗号化が選べる

System Recovery 18 SP1での変更点

- Generic S3 互換のクラウドストレージのサポート
- Veritas Access のサポート
- Veritas System Recoveryのバックアップからの Amazon マシンイメージ (AMI) の作成
- リカバリポイントの手動検証
- Linux edition: RHEL 7.4/SUSE 12.3、uEFI対応
- vSphere 6.7 のサポート

Generic S3互換とVeritas Accessのサポート

- バックアップデータの直接の保存先として、Veritas System RecoveryではGeneric S3互換およびVeritas Accessのクラウドストレージをサポートしました
- クラウドストレージとの通信に、NetBackupのOpenStorageテクノロジーを採用しています
- クラウドストレージを使用するための条件
 - インターネット接続
 - クラウドストレージ上にバケットを事前に作成
 - アクセスキー
 - シークレットアクセスキー
 - クラウドインスタンス
- S3のバケットは事前に作成しておく必要があります
- System Recoveryは、クラウドストレージに32-bitのプラットフォームは対応していません

Generic S3互換とVeritas Accessのサポート

- CloudInstance Creator Utilityを使ってクラウドインスタンスを作成します

```
D:\ws\VSR\main\ws\OstLib\Dev\dist\win64-x64_release>CloudInstance.exe -addinstance
CloudInstance Name: test1
CloudInstance Provider: compatible-with-s3
CloudInstance ServiceHost: s3-ap-northeast-1.amazonaws.com
SSL Supported (0\1\2): 0
HTTP Port: 80
HTTPS Port: 443

Instance test1 added successfully

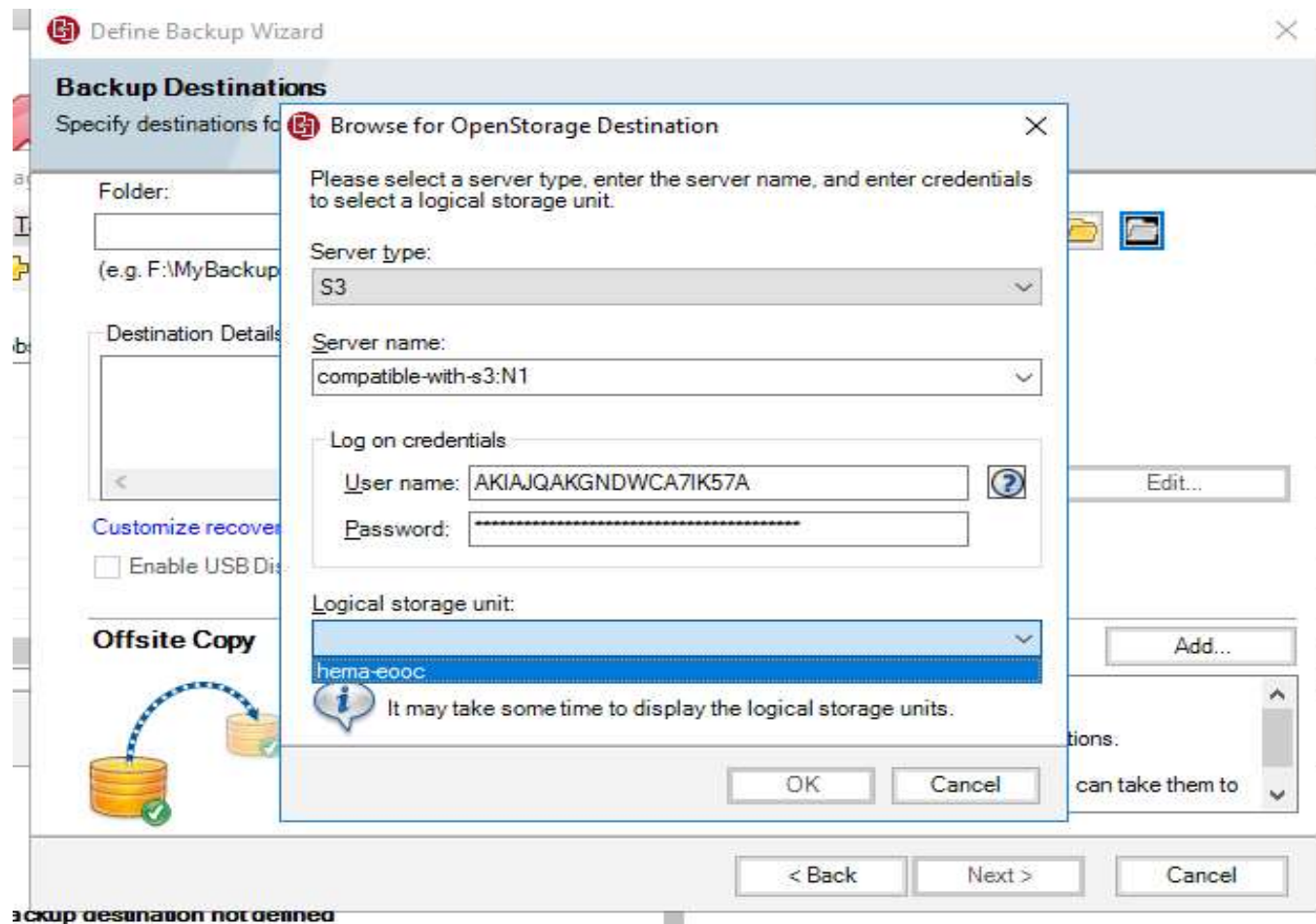
CloudInstance Name      : test1
CloudInstance Provider  : compatible-with-s3
CloudInstance ServiceHost : s3-ap-northeast-1.amazonaws.com
CloudInstance SSL Mode   : 0
CloudInstance URL Style  : 2
CloudInstance HTTP Port  : 80
CloudInstance HTTPS Port : 443
CloudInstance End Point  :
```

- CloudInstance Creator UtilityはVSRのインストールフォルダ/Agentフォルダ配下にあります
- 詳細はVeritas System Recovery 18 Service Pack 1ユーザガイド第15章「S3互換のクラウドストレージについて」をご確認ください

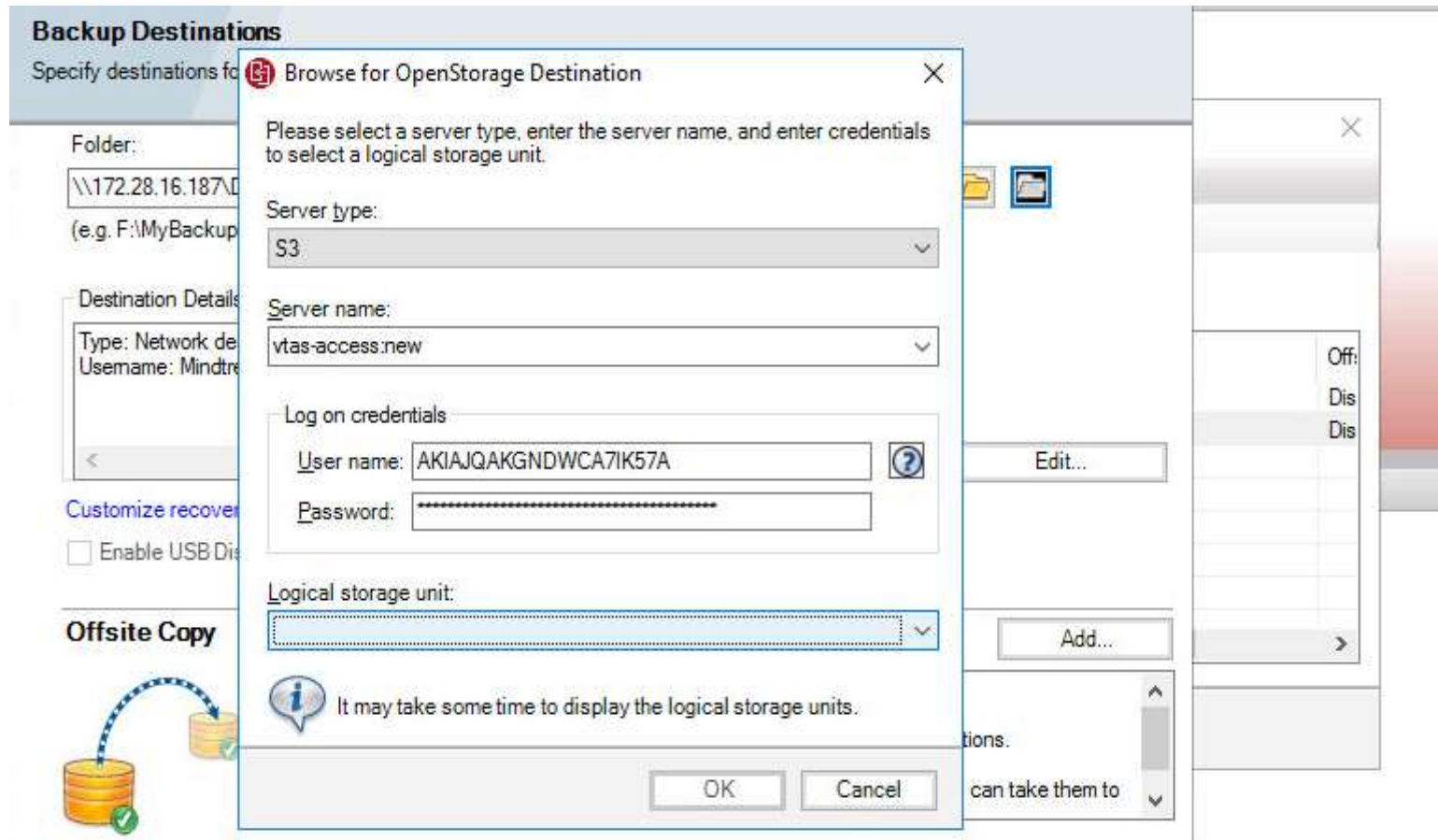
Generic S3互換とVeritas Accessのサポート

- 以下のフォーマットに従って、クラウドのロケーションを指定します
 - フォーマット - "OpenStorageType:ServerName/FolderName"
 - OpenStorageType → S3
 - ServerName → ProviderName:InstanceName
 - FolderName → バケット名
- 例:
 - Generic S3ストレージの場合 → S3:compatible-with-s3:Test1
 - Veritas Accessストレージの場合 → S3:vtas-access:Test2

Generic S3互換のサポート



Veritas Accessのサポート



Veritas BackupからAmazon Machine Image(AMI)の作成

- System Recoveryで取得したイメージバックアップからAWSの仮想マシンを起動することができます
- GUIの仮想変換ツールまたはPowershellコマンドを使って、リカバリポイントをVHDおよびVHDX形式に変換。create_AMI_IN_AWSのPowershellスクリプトを実行してAMIを作成
- 作成したAMIを使って、EC2のインスタンスとして起動できます
- 尚、以下のAWSの開発キットとコマンドラインツールが必要となります
 - Amazon Web Services SDK
 - Amazon Web Services CLI
- 詳細はVeritas System Recovery 18 Service Pack 1ユーザガイド第15章「Veritas System RecoveryバックアップからのAmazonでのAmazonマシンイメージ(AMI)の作成について」をご確認ください

Veritas BackupからAmazon Machine Image(AMI)の作成

```
Administrator: Windows PowerShell

-----NOTE:-----
The script converts the backup data to VHD or VHDX format so that you can create a new virtual machine
in Amazon cloud.
Ensure that you create the backup of all the drives including hidden drives for the successful creation
of new machine.

Please note that, if you have the installed application version lower than the Veritas System Recovery 18
Service Pack 1, the script supports creation of VHD or VHDX only for the backups which are
NOT password protected.
However, you can create an AMI from any existing VHD or VHDX.
-----

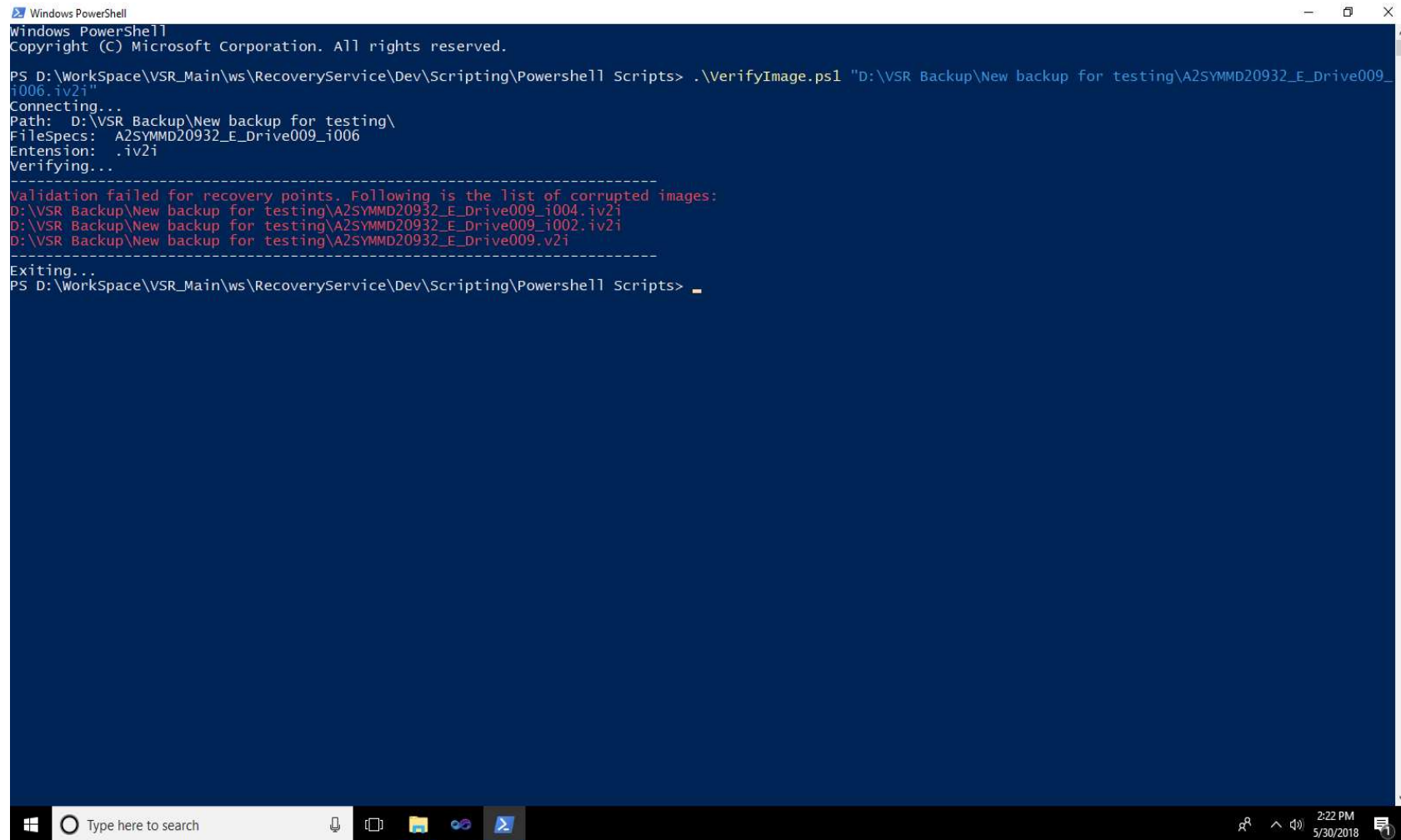
Do you want to proceed with using VHDX instead of VHD for AMI creation? If Yes, please Enter Y, If No, please press Enter Key to proceed for VHD creation:
We are proceeding with using VHD for AMI creation
Do you already have a virtual hard disk - VHD of the system drive backup (Y/N)? : n
You have Entered NO
Enter the path of the sv2i file. For example: E:\Backup\machine_name_xxx.sv2i: D:\24th\WIN-S6G6BMQ9NQL.sv2i
Enter the path to create the VHD. For example: E:\Backup\VHD.
You must maintain separate folders for the virtual hard disks of each machine.: D:\24th\VHD
Enter access Key: *****
Enter secret key: *****
Press 1 to create a new bucket or press 2 for an existing bucket.: 1
Enter the bucket name.: vsr18splbeta
Enter the bucket region.: ap-south-1
Enter the folder name to be created in S3 bucket to upload the files: MyVHDFiles
Connecting to the local agent.
Connected to the local agent.
***** Virtual conversion Initiated *****
Path: D:\24th\
FileSpecs: WIN-S6G6BMQ9NQL
Extension: .sv2i
Path: D:\24th\VHD\
FileSpecs: WIN-S6G6BMQ9NQL.sv2i
Extension: .vhd
Loading sv2i file.
Successfully loaded sv2i file.
Conversion in progress.
Conversion successful.
***** Virtual conversion completed *****
Creating the vsr18splbeta bucket in ap-south-1 region.

Activate Windows
Go to Settings to activate Windows.
```

リカバリポイントの手動検証

- Powershellスクリプトを使って、リカバリポイントの検証が可能になりました
- リカバリポイントが壊れていないかをスクリプトが発見してくれます
- スクリプトはISOファイル（メディア）の以下のパスに置かれています
 - DOCS\AUTOMATION\POWERSHELLSCRIPTS
- 詳細はVeritas System Recovery 18 Service Pack 1ユーザガイド第5章「リカバリポイントの手動検証」をご確認ください

リカバリポイントの手動検証



```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

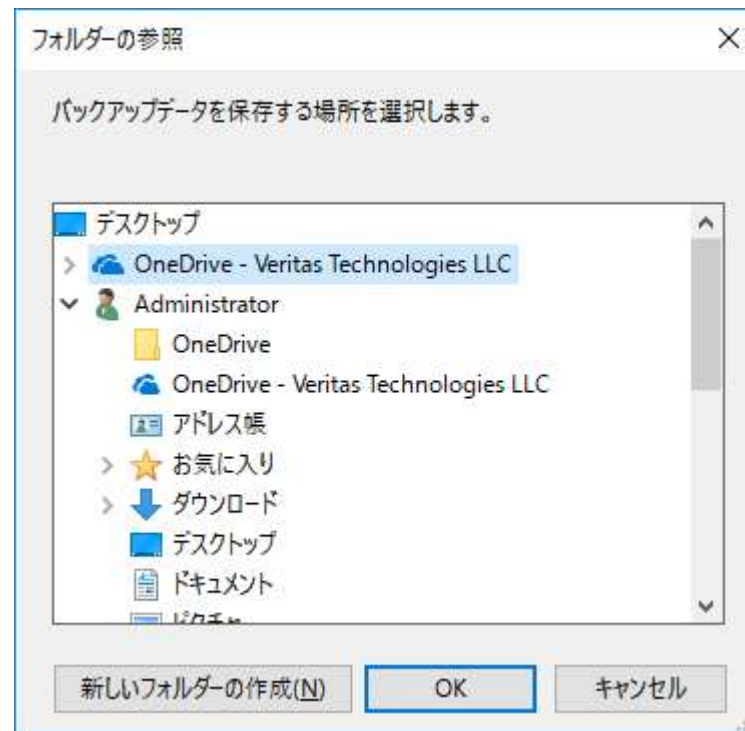
PS D:\Workspace\VSR_Main\ws\RecoveryService\Dev\Scripting\Powershell Scripts> .\VerifyImage.ps1 "D:\VSR Backup\New backup for testing\A2SYMMD20932_E_Drive009_i006.iv2i"
Connecting...
Path: D:\VSR Backup\New backup for testing\
FileSpecs: A2SYMMD20932_E_Drive009_i006
Extension: .iv2i
Verifying...
-----
Validation failed for recovery points. Following is the list of corrupted images:
D:\VSR Backup\New backup for testing\A2SYMMD20932_E_Drive009_i004.iv2i
D:\VSR Backup\New backup for testing\A2SYMMD20932_E_Drive009_i002.iv2i
D:\VSR Backup\New backup for testing\A2SYMMD20932_E_Drive009.v2i
-----
Exiting...
PS D:\Workspace\VSR_Main\ws\RecoveryService\Dev\Scripting\Powershell Scripts>
```


System Recovery 18 SP2での変更点

- Windows Server 2019/Exchange Server 2019 サポート
- vSphere 6.5 U1/U2, vSphere 6.7 U1のサポート
- SMTP認証のサポート
- Microsoft OneDrive for Businessのサポート
- SRDでデフォルトで「システム」が選択されるようになる（以前はファイル名）
- RAO (Restore Anyware)でUSB 3.0ドライバー対応
- クロスプラットフォーム（BIOS <-> UEFI)の復元を行おうとしたときに対応していないことを通知するメッセージの表示

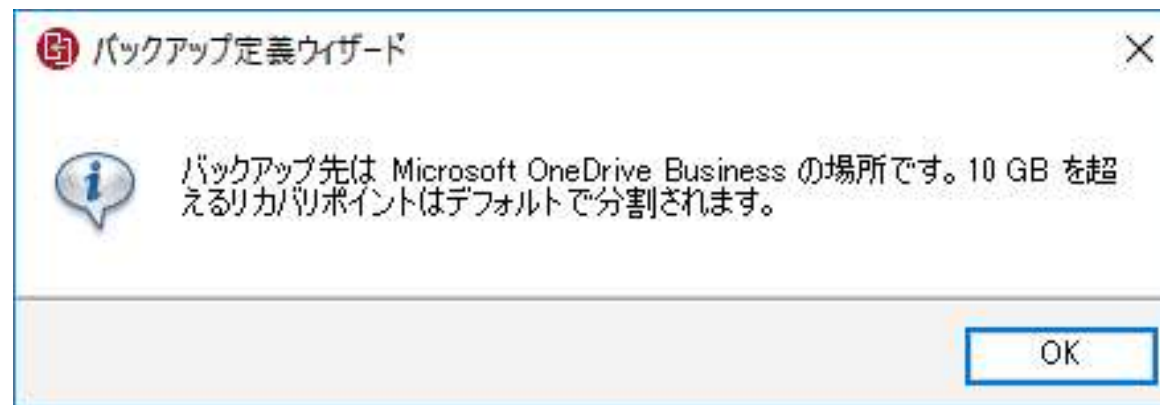
Microsoft OneDrive Businessのサポート

- バックアップデータの保存先としてOne Driveフォルダ（オンプレ上）が指定できるようになりました。このフォルダからOne Driveのクラウドフォルダへの同期はOne Driveで行われます。



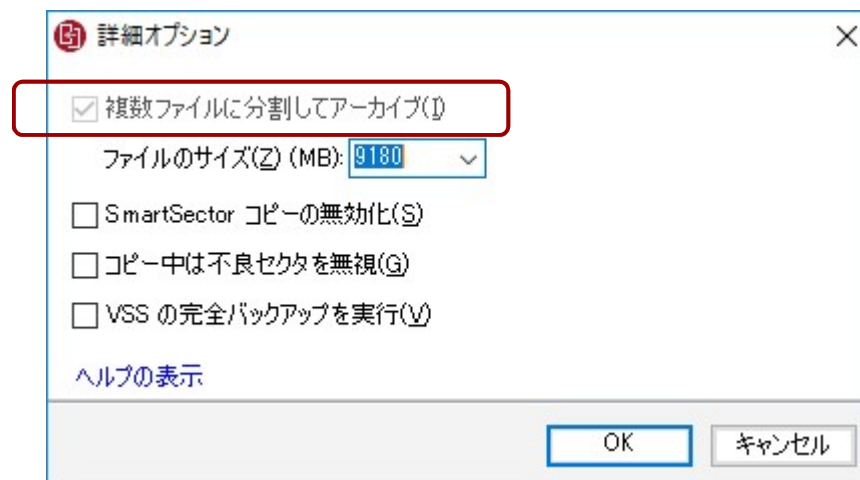
Microsoft OneDrive Businessのサポート

- リカバリポイントのファイルサイズは、10GBまでが上限で、これを超えると分割されて、以下のようなワーニングメッセージが表示されます



Microsoft OneDrive Businessのサポート

- バックアップファイルのサイズが10GB以下であれば、分割するサイズを指定することもできます（10GBの制限はMicrosoft OneDriveの制限）



SMTP認証のサポート

- SMTPの認証と暗号化、両方サポート
- 認証の場合、匿名、ベーシック、NTLMが選べる
- 認証にチェックを入れると、ポート番号も指定できる
- 暗号化の場合、無し、TSL、SSLが選べる

SMTP認証のサポート

オプション - BEML110G9

SMTP 電子メール
電子メールメッセージに送信する製品メッセージを指定します。

設定

- 全般
- パフォーマンス
- トレイアイコン
- ファイルの種類

ターゲット

- 外部ドライブ
- FTP の設定

通知

- ログファイル
- イベントログ
- *SMTP 電子メール
- SNMP トラップ

優先レベル
優先度およびメッセージの種類の選択(M):
メッセージなし

☐ エラー(E) ☐ 警告(K) ☐ 情報(I)

宛先アドレス(admin@domain.com; admin1@domain.com; ...)(T):

発信元アドレス(E):

SMTP サーバー(smtp.domain.com)(S):

☒ 認証(U) ☐ 暗号化(O)

SMTP 認証(H):
--選択--
匿名
ベーシック
NTLM

ポート(O):

ユーザー名(U):

パスワード(P):

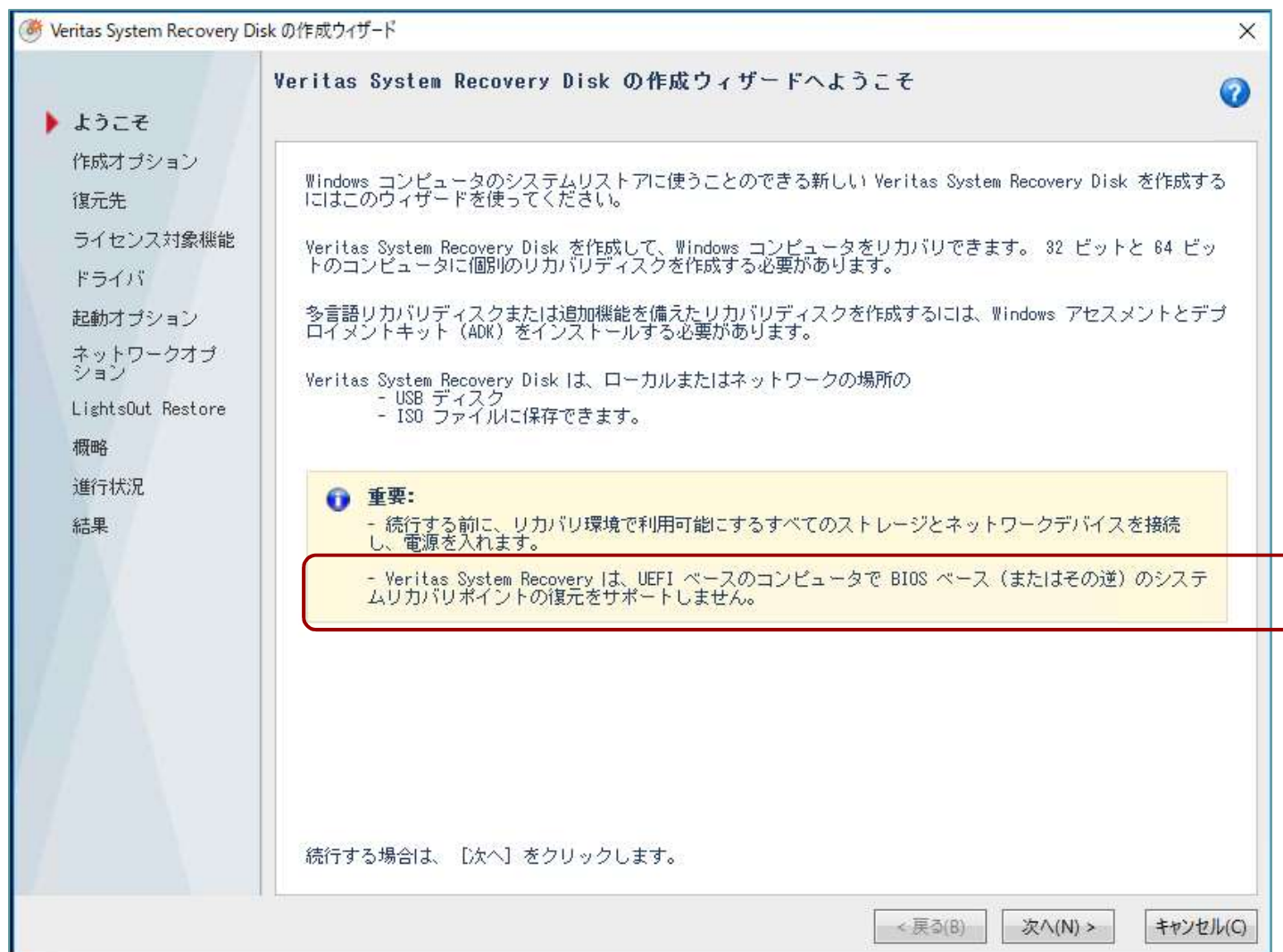
OK キャンセル 適用(A)

クロスプラットフォームの復元時のメッセージ

- クロスプラットフォーム（BIOS < - > UEFI）の復元ができないことを伝えるメッセージが表示されるようになりました

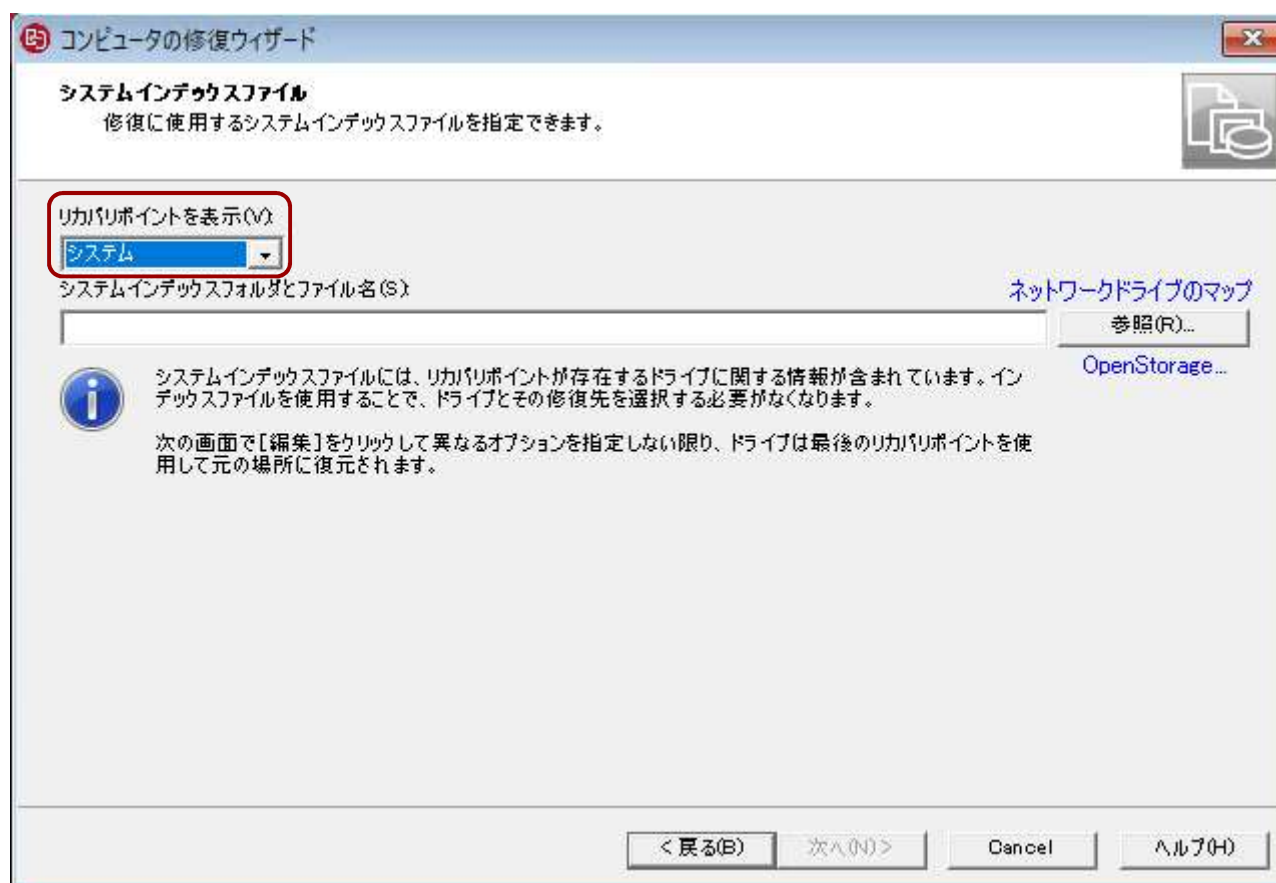


SRD作成ウィザード



SYSTEMがデフォルトで選択される

- SRDでデフォルトで「システム」が選択されるように変更する（以前はファイル名）



十分使える機能を、お手ごろ価格でご提供

バックアップ対象マシン単位で購入

Basic Edition
シンプルな簡易版
(フルバックアップ専用)



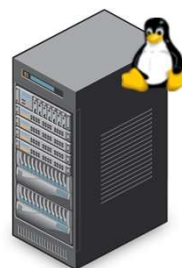
54,720円

Server Edition
全機能が利用可能



87,600円

Linux Edition
Linuxならこれ



54,960円

Virtual Edition
仮想環境もお得に



仮想ホスト
単位課金

191,760円

Server Edition
には、1本付属

Desktop Edition



PC用も
お安く

7,680円

- ・仮想マシン3台以上ならお得
- ・Hyper-Vならホスト側も保護可能
- ・仮想移行時のP2Vにも利用可能

上記は2018年10月時点の希望小売価格(税別)
Corporateライセンス・初年度平日日中保守1年込
最新価格情報のご確認は、ご購入前窓口まで。

System Recovery 18 のターゲット

こんなお客様にはぜひ System Recovery を！

環境規模

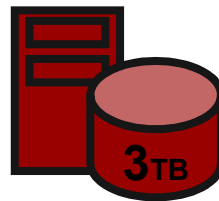
~5_台



小規模向け

データ容量

~3_{TB}



小~中容量

要件

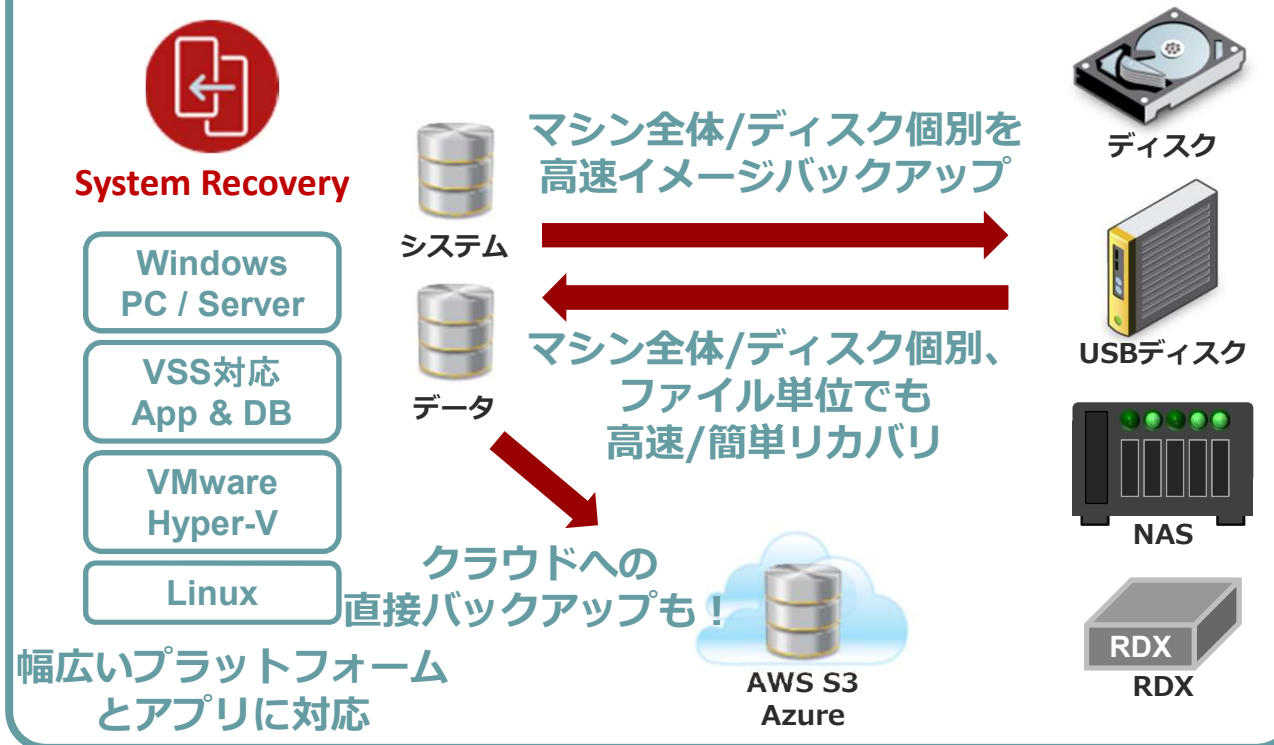
簡単



管理者不在など

System Recovery 18 のまとめ

System Recovery18 なら簡単/高速に
システムディスクもデータディスクも保護



System Recovery の各種情報

ご購入前の各種お問い合わせ先

ベリタスセールスインフォメーションセンター

フリーダイヤル 0120-907-000
(IP電話からは 03-4531-1799)

受付時間 10 : 00～12 : 00、13 : 00～17 : 00
(土日祝日、年末年始を除く)

WEBフォームからのお問い合わせは24時間受付中

[ご購入前お問合せ受付]

<https://business.form-mailer.jp/fms/d2991ee647690>

[評価版のダウンロード・サポート]

<https://business.form-mailer.jp/fms/66659b5c47733>

System Recoveryの各種情報

- 販売店様向け各種日本語資料をWEB公開中

<http://info.veritas.com/japan-product-resources>



Backup & Recovery
製品情報

グローバルのバックアップ & リカバリー市場で、トップシェアを誇るベリタステクノロジーズ
各製品のカタログ、ライセンスガイド、製品紹介など日本語の情報はこちらから。

- Veritas Backup Exec
- Veritas System Recovery
- Veritas Desktop and Laptop Option
- 各種営業情報 / 価格表 / ライセンス申請書 / お問い合わせ

製品紹介

カタログ

ライセンスガイド

ハンズオン/自習資料

60日間利用可能
試用版ダウンロード

System Recovery の各種情報

- 試用版、サポート関連情報など

■ System Recovery 18

- ・ サポートページ

https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/

- ・ Veritas System Recovery 18 60日間無料試用版

<https://www.veritas.com/trial/ja/jp/system-recovery-18.html>

- ・ Veritas System Recovery 18 Service Pack 2 ユーザーズガイド

https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/51004009-134250361-0/index

- ・ Veritas System Recovery 18 Service Pack 2 Readme

https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/54295949-134250787-0/index

- ・ Veritas (TM) System Recovery 18 Software Compatibility List

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_18_SCL

ありがとうございました

Copyright © 2018 Veritas Technologies. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

VERITAS™